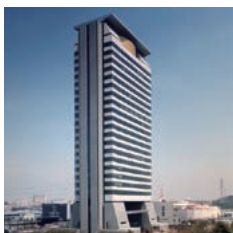


## 個人情報保護の対策強化として、 認証 VLAN ソリューション「NAC アプライアンス」を導入



株式会社ベネッセコーポレーション  
<http://www.benesse.co.jp/>

子育て・教育・語学・生活・福祉事業 従業員数：2,885名

導入ソリューション **認証 VLAN**

ネットワークの運用と管理でさまざまな課題が生じていたベネッセコーポレーション。  
課題を速やかに解決し、より優れた IT 基盤を実現するために選ばれたのが、  
シスコの認証 VLAN ソリューションである。

### 導入前の課題

- ・部門ごとのセグメント化/VLAN 割当による、ネットワーク利用の制約を解消
- ・レイアウト変更などにおけるネットワーク設定変更の労力とコストの削減
- ・DHCP 利用拠点と固定 IP 拠点の混在による煩雑な運用管理の解消
- ・老朽化した機器のリプレースによる保守性の向上と保守費の削減

### 導入ソリューション

- ・ネットワーク設計の見直し、再構築
- ・認証 VLAN ソリューション

### 導入効果

- ・ネットワーク利用における、従来よりも高い利便性（移動性）を実現
- ・社内レイアウトの変更や、組織変更時の設定変更工数とコストが減少
- ・ユーザ認証によるセキュリティ制御の高度化と、管理の簡素化に成功
- ・機器リプレースと再構築によるトータルな TCO の削減

## 直面する課題

## より高い利便性、セキュリティ、管理性を求めて

教育、福祉、子育て支援など、日々の生活と密接に関わるさまざまな事業を展開しているベネッセコーポレーション。日々変化する市場に迅速かつ的確に対応し、よりよいビジネスを展開するために、IT の活用はなくてはならないものとなっている。ネットワーク システムの構築やセキュリティへの対応も積極的に行われてきたが、次第に利便性や管理性の面で改善すべき課題も生じてきた。

第一に利便性の問題。これまでは、セキュリティ強化を目的に、部門ごとにセグメント化して VLAN を割り当てていた。しかし、部門の規模拡張や人員の移動といった状況が生じたときにネットワークの設定変更や再構成が必要になり、スピーディな対応が困難だった。

第二に管理上の問題。セキュリティ制御の関係から DHCP の運用を行っていたが、固定アドレスで運用していた拠点や部署もあり、それぞれが混在している状況だった。ユーザ管理や PC 管理も各々が個別

に行っており連携ができていなかったため、よりわかりやすい構成に再編し、ネットワークの運用と管理を効率化・簡素化することが求められていた。

東京本部 IT 戦略部 部長 樋口康弘氏は次のように語る。

「ビジネスモデルが変化して、商品だけではなく販売の手法も含めて個別対応が進んでいるなか、膨大なデータを分析して的確なアプローチを図り、市場に合わせたスピーディな展開を行うには IT の活用が欠かせません。その基盤をさらに確かなものとするために、従来よりも高い利便性とセキュリティの実現、運用や管理の効率化を促進することが重要だったのです。

弊社は教育事業に携わっていますので、取り扱うお客様の個人情報も非常に膨大な数になります。だからこそ、企業としてより厳しく対処すべきであると考えており、その一環として今回のプロジェクトを進めています」

## 導入プロセス 1 新規拠点へ先行導入、続いて大規模拠点へ展開

今回導入された認証 VLAN システムは、シスコの NAC アプライアンスによって実現されるものだ。まず、事業所の統合と移転が行われた大阪拠点に導入し、続いて関東地区にある複数の拠点をまとめる形で導入するという段取りで進んでいる。

「大阪への導入はちょうどタイミングがよかったんですね。新しいシステムをいきなり大規模な拠点に入れるのはリスクもありますから、新たにできる拠点へ導入したほうがスムーズにいくという判断もありました。大阪で導入した後に、いくつか解決しなければいけない問題点も判明しましたので、それも克服しながら、関東地区への導入を進めている段階です」

各拠点には Cisco NAC サーバ（CAS：Clean Access Server）が導入されているが、これは端末数が多いため、負荷を考慮してのことだという。

「1 拠点あたりの端末数が多いので、それらを確実に扱うには拠点単位で（CAS を）設置したほうがよいだろうと判断して、このような構成

にしています（右図を参照）。将来的にフロア数の増加や、規模が拡大することもあり得ますので、そうした場合でも対処で

きるように若干余裕を持たせているわけです」

また、このプロジェクトに合わせて、旧機種の置換も進めているという。

「すでにインテリジェント スイッチなどはシスコの製品を導入していましたが、保守やサポート期限が満了したものがけっこう出てきました。それらを最新のものに入れ替えることで保守費を削減し、投資対効果を改善することも狙いの 1 つです」（樋口氏）



## 導入プロセス 2 シスコ ソリューションを選んだ理由とメリット



今回導入された NAC アプライアンスは、追加機器なしでネットワークの検疫も実現できる。中期的なランニングコストを

踏まえ、トータルなコストパフォーマンスの高いシステムを構築する上でも効果が望める。同社はすでにシスコ製品を用いて基盤となるネットワークを構築しており、そうした点も NAC アプライアンスが選定された理由の 1 つになっているようだ。システム構築と運用監視を行っている株式会社シンフォームの重藤俊司氏は次のように語る。

「導入するソリューションは、他社のものも含めてご提案しました。NAC アプライアンスが選ばれたのは、すでにネットワーク機器としてシスコ製品を導入済みで親和性が高いこと、またアプライアンスなので導入が容易という点が大きなポイントですね」

すでにシスコ製品を導入済みだったことも含めて、樋口氏はそのメリッ

トを補足する。

「最近のネットワークは複雑で、トラブル発生時にユーザが対応することは簡単ではありません。インテリジェントな機器（システム）が導入されていれば、運用や管理をリモートで行うことが可能になります。実際に、セグメント単位で何かトラブルが生じたときも、たいいていのはリモートで解決できています。管理状態や工数を把握できるようにして、そこにかかる労力やコストを見直すという観点からも、ネットワーク機器への投資は相応に行って然るべきと考えますし、その効果が確実に現れているという実感はあります。ハードウェアとしての耐久性も、しっかりしていると思いますね」

今回のシステム導入において、特に大変だったことはあったのだろうか？

「当初の課題として挙がっていたように、ネットワーク管理のキャパシティが飽和状態にありましたので、管理できていない部分の洗い出しにはかなり労力がかかりました。また、それらを踏まえつつ新システムへ移行していくということも、苦勞した部分でしょうか」（重藤氏）

導入効果・  
今後の展開

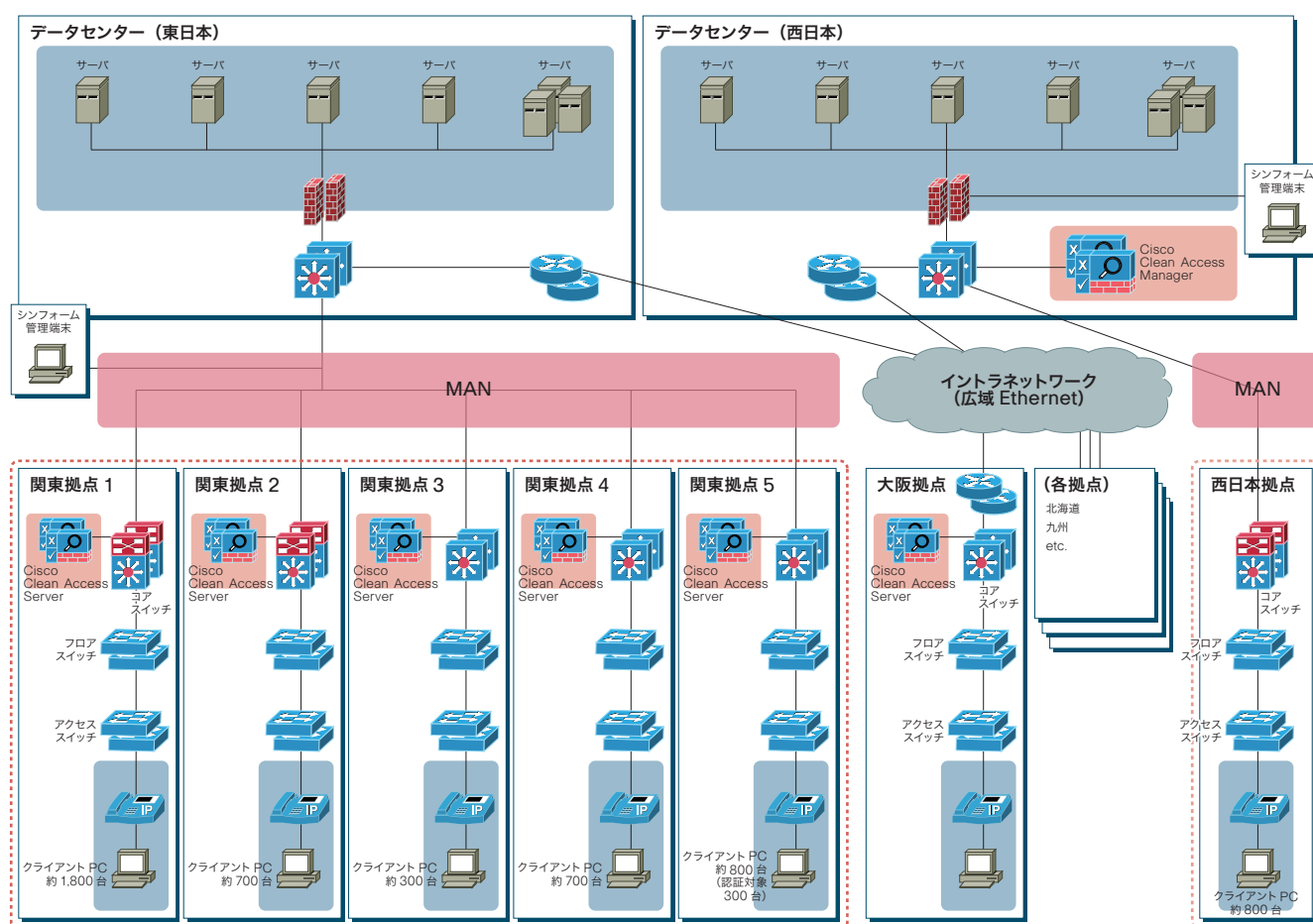
## 利便性、管理性の向上を踏まえ、より働きやすい環境を目指す

「先行して導入した大阪では、これまでと違和感なく利用できているようです。関東地区では、実際の効果はこれから明確になってくると思います。従来はレイアウト変更などの度に『うまく動かない』といった問い合わせが多数あり、その都度対応が必要でした。月にかなりの対応数になっていましたので、それらにかかる人件費をはじめとしたコストは確実に減るでしょう。また、新機種への置き換えによる保守費用の削減効果も大きく、2年ほどで投資回収できる計画です」（樋口氏）

利便性や管理性の向上を図るという目標は順調に達成されており、目立った支障もないようだと言います。関東地区での効果が明確になっていくにしたがって、今回導入したシスコの NAC アプライアンスによる認証 VLAN ソリューションの有用性も改めて認識されることになるだろう。

今後は、大阪、関東に続き、岡山本社、各拠点へと順次展開していく予定で、それに合わせて、より働きやすい環境づくりに取り組んでいきたいと言う。機能面を見直す流れの中で、IT の活用についてもいろいろと検討しているが、直近の課題として挙がっているのは無線 LAN の導入だと樋口氏は語る。

「今はモバイル系の機器がもれなく装備していることもあって、無線 LAN へのニーズは高いですね。現在のワークスタイルは基本的に固定席ですが、より柔軟な環境を求めるなら、やはり無線 LAN の導入は必要なだろうと考えています。ネットワークの利便性やセキュリティへの対処の仕方を変えれば、すぐに使えるようにすることはできますが、やるからには新たに導入した有線 LAN と同じレベルで実現したいと考えています。そうした理想を目指して取り組みたいですね」



## 会社概要

### 株式会社ベネッセコーポレーション

本社所在地：岡山県岡山市南方 3-7-14

設立：1955年1月

資本金：136億円

従業員数：2,885名、ベネッセグループ 14,910名（2007年4月1日現在）

企業理念である“Benesse”を社名とし、一人ひとりの「よく生きる」を支援するために、教育、文化、福祉、生活の各分野で積極的に事業を展開。通信講座「進研ゼミ」、出産や子育てを支援する雑誌「たまごクラブ」「ひよこクラブ」、暮らしに役立つ情報を提供する多様な生活情報誌、介護付き老人ホームの展開など、幅広く充実したラインアップを有する。

e-ラーニングと進研ゼミを活用して遠隔地での教育を支援する「福島プロジェクト」、子供たちに理科の実験を体験してもらえる「サイエンス教室」の展開、独自の子育て支援施設「『あそびと学び』おやこの広場」の開設といった新しい試みも多数実施している。赤ペン先生による添削を行う進研ゼミは、通信教育における双方向のコミュニケーションをいち早く実現した。現在はファックスやインターネットも利用して、さらに理解度や利便性を向上させている。

研究機関として「Benesse 教育研究開発センター」「Benesse 次世代育成研究所」「Benesse 食育研究所」の3つを設けており、その成果を事業と社会に還元する活動にも取り組んでいる。



### Cisco NAC アプライアンスについて

Cisco NAC アプライアンス (Clean Access) は、ネットワーク コンピューティング リソースにアクセスするすべてのデバイスのセキュリティ ポリシー強化を行うソリューションです。Cisco NAC アプライアンスにより、ネットワーク管理者は事前にユーザと PC を認証し、権限の付与、評価と修復を行ってから、そのユーザに対してネットワークへのアクセスを許可することが可能となります。また、ネットワーク内のユーザ、デバイス、およびそのロールの認識を早い段階から行うので、悪意あるコードによってシステムがダメージを受ける心配を払拭できます。

ネットワーク停止などの予期せぬトラブルによる業務障害を未然に防ぎ、ユーザや PC、その他のデバイスに対するセキュリティ ポリシーの修復や更新にかかるコストの削減にも貢献するソリューションです。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)

この資料の記載内容は 2008 年 2 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



#### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先